

研究課題名「当院における急変予測の取り組みと予期せぬICU入室の関連」に関する情報公開

1. 研究の対象

2018年4月1日～2018年12月27日および2019年4月1日～12月27日に当院へ入院された方のうち、外科系・内科系集中治療室に入室したことがある方

2. 研究目的・方法・研究期間

・研究目的

当院では、入院患者さんの体調が急に悪化していないか、急に悪化する可能性があるか判断するための仕組み（名大式MEWS）をもちいて、日々評価を行っています。これは、入院患者さんの体調の悪化を察知し、早期に必要な治療を提供するためのものです。今回、この名大式MEWSの取り組みを始める前と後で、集中治療室（ICU）に入室した患者さんの件数や看護師が患者さんの観察を行う頻度に、どのような影響を及ぼしたのか、その効果を測ることが目的です。

・方法

上記の期間に当院へ入院された方のうち、外科系・内科系集中治療室に入室したことがある方の過去の診療情報を使用します。本研究で使用する診療情報は、ICUへの入室日時、ICU入室に至った経緯、ICU入室前24時間以内の手術・内科的治療・処置の実施の有無、ICU入室前24時間以内のバイタルサイン（体温・血圧・SpO₂・脈拍数・呼吸回数・意識レベル）の測定回数です。名大式MEWSの取り組み前（2018年4月1日～12月27日）と後（2019年4月1日～12月27日）です。名大式MEWSの取り組みを始める前と後で、手術・内科的治療・処置等の治療後等のICUへの入室が予定されていない、急遽ICUへ入室した患者さんの件数や、看護師が測定したICU入室前24時間以内のバイタルサインの測定回数を比較し、調査します。なお、本研究で使用する診療情報は、個人が特定できないように匿名化した上で、厳重に保管いたします。

・研究期間

研究の実施が認められてから、2021年5月31日までの期間を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：ICUへの入室日時、ICU入室に至った経緯、ICU入室前24時間以内の手術・内科的治療・処置の実施の有無、ICU入室前24時間以内のバイタルサイン（体温・血圧・SpO₂・脈拍数・呼吸回数・意識レベル）の測定回数

試料：使用しません

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 看護部 情報管理

柳生 知秀

TEL:052-744-2700

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 看護部

看護部長 藤井晃子